

要素訓練（現場実動）実施要領

2019年11月29日実施（予備日：12月20日）



(1) 要素訓練の目的

緊急時対策所と現場が連携した現場実動訓練を実施することで、緊急事態対策組織の対応力の総合的な強化を図る。また、訓練評価から課題を抽出し改善を行う。

(2) 実施日時：11月29日（金）13：15～15：45 <予備日：12月20日（金）>

（総合訓練として9：00～16：00で実施）

(3) 訓練手法

非開示（作業規制を実施するため時間・場所は周知）

[Redacted]

(4) 訓練テーマ

[Redacted]

(5) 訓練想定

4号機（新規制基準適合後）定格熱出力運転

3号機（旧基準炉）停止中（炉内に燃料なし）

平日昼間帯、地震発災

[Redacted]

(6) 備考

[Redacted]

視察者等の安全を考慮し、照明は点灯

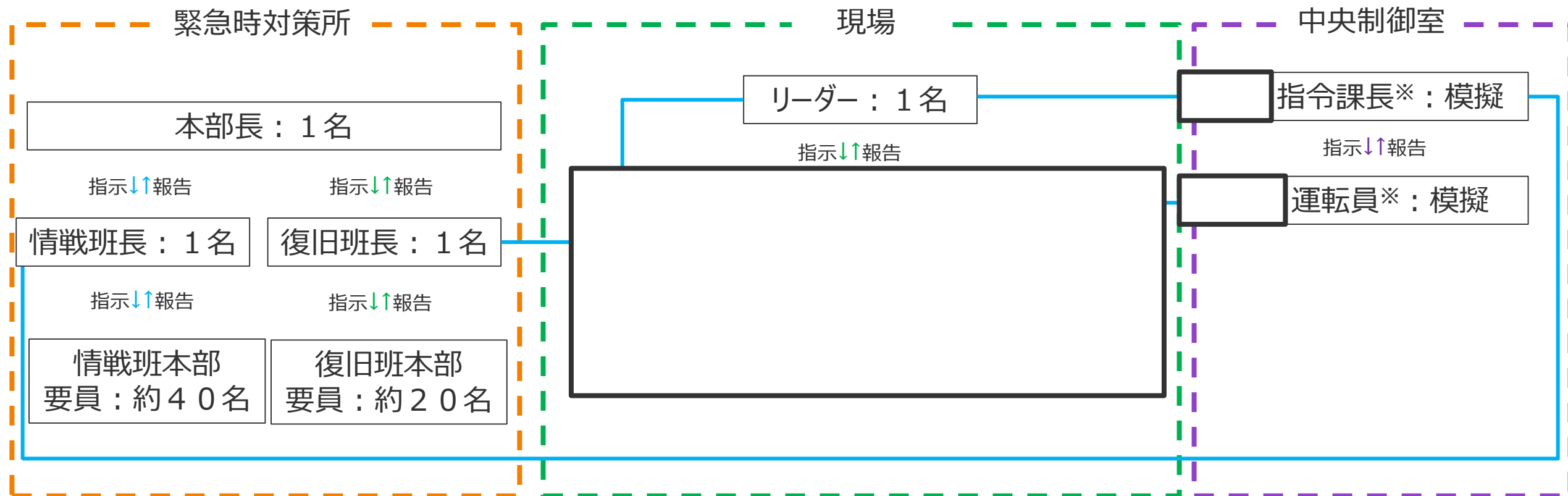
シナリオ非開示型訓練のため非公開

(7) 訓練全体像

シナリオ非開示型訓練のため非公開

(8) 訓練体制

緊急時対策所－現場－中央制御室の体制は以下の通りとする。



——— : 連携箇所

※ 統制

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ1> 現場出動までの流れ（EAL判断、ブリーフィング）

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ2>現場ラインナップ

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ3-1> マルファンクション対応

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ3-2> マルフアンクション対応

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ4> 設備インサービス

シナリオ非開示型訓練のため非公開

<ステップ5>本部対応（EAL解除）

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

シナリオ非開示型訓練のため非公開

(1) 訓練観察体制

原子力規制庁殿：●名

電力会社：◆社

- ✓ 訓練観察者以外にJANSIピアレビューがオブザーバーとして参加

訓練事務局：20名程度（事務局、ロジ関係者 等）

(2) 訓練観察時資料

a. 訓練計画書 [発電所固有資料]

- ✓ 訓練体制、訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

b. 要素訓練観察チェックシート（作成中）

c. 手順書 [発電所固有資料]

- ✓ 公開可の内容については事前に送付
- ✓ 公開不可の内容については、当日配布で回収
- ✓ 訓練設定上の模擬範囲、スキップ範囲を明確化

(1) 評価項目

- ① 要素訓練全体（緊急時対策所及び現場実動）での共通的な評価項目
- ② 要素訓練テーマ
- ③ 発電所特有の手順に関する評価項目

※全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を行うものとして整理。

(2) 観察記録：評価の理由となる事実（Fact）

(3) 良好事例、気付き事項、改善事項

- ✓ 良好事例：特に優れている項目。評価者が自社の改善につながる事のできる項目。
- ✓ 気付き事項：良否の判定に関係しない、なんらかの気付いた事項
- ✓ 改善事項：改善の必要性（Factに基づく理由）および改善方法の提案（少なくとも方向性）

(4) 評価結果等の反映

- ✓ 評価結果、良好事例、気付き事項および改善事項については、自社の改善計画のプロセスに取り込み、反映を実施する。
- ✓ 必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。

2019年11月29日（金）＜予備日：12月20日（金）も同日程＞

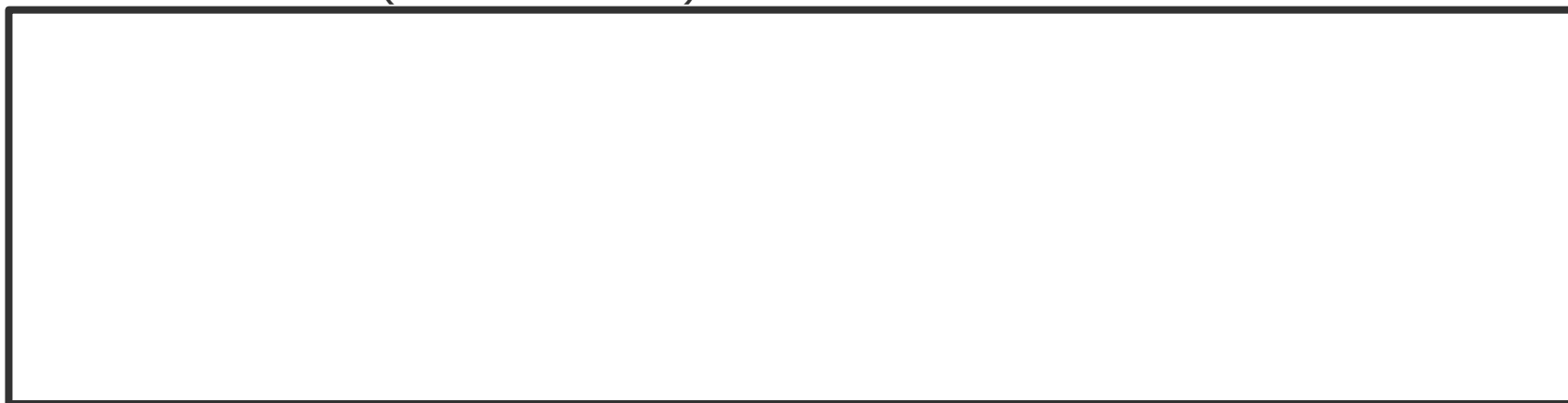
11:00 評価者の掛川駅集合

11:50 評価者の浜岡原子力発電所到着

11:50～12:00 事務本館へ移動

12:00～13:00 評価者への訓練概要説明

(昼食をとりながら)



15:45～16:10 評価者の事務本館への移動（休憩含む）

16:10～17:10 評価者による振り返りと質疑応答

17:10～ 評価者の浜岡原子力発電所出発

シナリオ非開示型訓練のため非公開